

2025年 6月 25日
東日本旅客鉄道株式会社

山形新幹線
現在の調査経過と当面の対応について

6月17日（火）11時24分頃に東北新幹線宇都宮～那須塩原駅間で発生した、回送列車（E8系）が故障した事象のほか3件の車両故障により、つばさ号をご利用のお客さまをはじめ、多くのお客さまにご迷惑とご心配をお掛けしていることを深くお詫び申し上げます。

本事象に関する現在の調査経過と当面の対応についてご報告します。

1. 現在の調査経過【別紙】

東北新幹線宇都宮～那須塩原駅間で故障した回送列車のほか、小山駅停車中であったつばさ136号（E8系）、郡山駅停車中であった回送列車（E8系）、山形新幹線福島～笹木野駅間を走行中であったつばさ139号（E8系）で同日に車両故障が発生しました。これらの4編成に搭載された補助電源装置について、当社およびメーカーにおいて外観調査ならびに分解調査を進めております。現在までに、故障が発生した6台の補助電源装置内部で、同部位の半導体素子の損傷が確認されました。なお、半導体素子が損傷した原因は現在も特定できておりません。引き続き、気温などの環境的要素を含め、あらゆる観点から鋭意原因究明を行い、必要な対策を講じてまいります。

2. 当面の対応

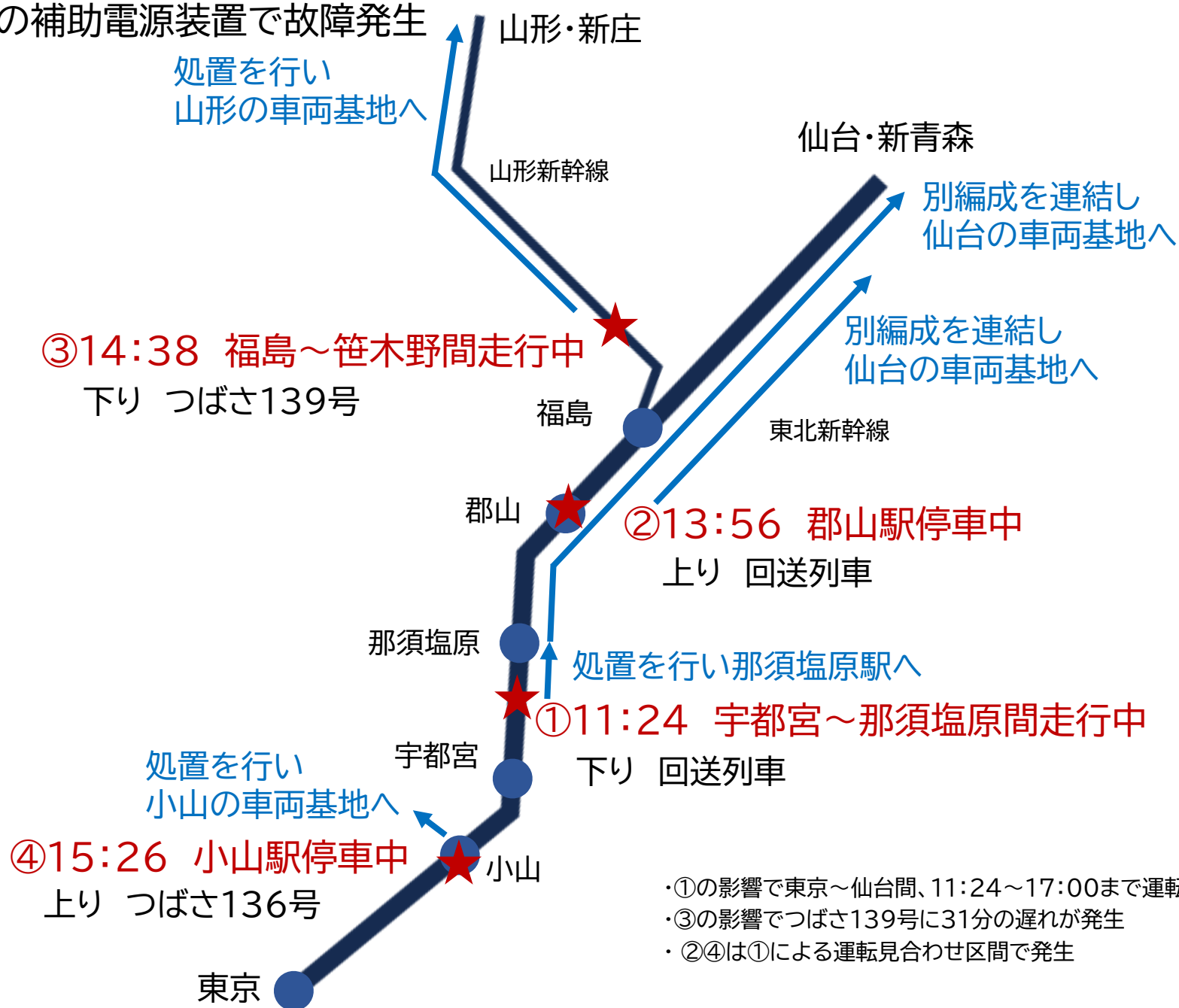
現在、新幹線区間及び在来線区間においてE8系の単独運転を全て取りやめている影響により、山形新幹線は一部の直通列車を除き、福島駅で山形・新庄駅方面へ折返し運転を行っています。この対応に伴い、山形新幹線（福島～山形・新庄間）の列車本数は、定期列車の本数を基準として通常の8割程度となっております。

本事象の原因が判明するまでの間、引き続きこの対応を実施してまいります。

福島駅でのお乗り換えや車内の混雑など、多くのお客さまにご不便・ご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

別紙1 発生状況

計4編成の補助電源装置で故障発生



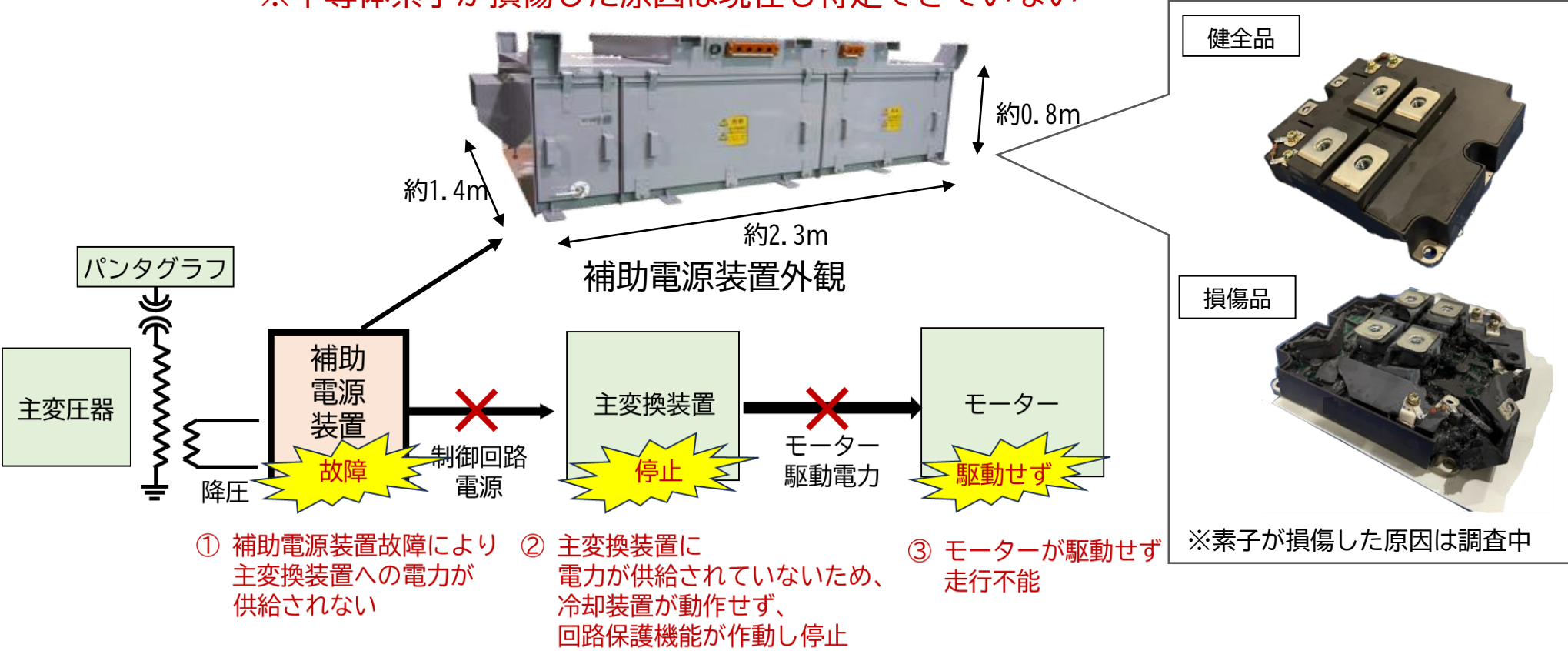
別紙2 走行不能に至った理由

補助電源装置が故障して主変換装置への電力供給が断たれたため、主変換装置内にある冷却装置が動作せず、回路保護動作が働いた

→車両を動かすためのモーターを駆動することができず、走行不能に至った

詳細調査において、補助電源装置内部の半導体素子に損傷を発見

※半導体素子が損傷した原因は現在も特定できていない



主変圧器 : 架線から集電した電力を車両の各回路に合わせた電圧に変換して供給する装置

補助電源装置 : 車両の各機器に必要な電力を供給する装置

主変換装置 : 台車のモーターを駆動するための制御装置